

京都丹波「食と森の交流の都」プロジェクト

・京都府／亀岡市、南丹市、京丹波町
・開催時期：通年

京都の由緒ある田舎の暮らしを体験できる！

体験学習等のイベント内容

・京都丹波の都市農村交流の取組をさらに促進し、交流人口の拡大や農林畜産物の生産・販売拡大による地域の活性化を図ることを目指し、「京都丹波・食と森の交流協議会」を設立。

・小・中学校を対象とした農村宿泊型教育事業(農村民泊)を柱に、京のブランド製品の収穫体験等の食のプログラム、ネイチャーガイドハイキング等の森のプログラム、伝統文化・芸術体験の芸術のプログラム等、各種体験プログラムがあります。

・インバウンドの農業・農村体験受入れも開始し、国内外から多くの方が利用しています。



取組主体の紹介

京都丹波・食と森の交流協議会は、「教育体験旅行」の一環として「農村民泊」を行っています。

旅行中のトラブル発生に備え、協議会を通じて学校・旅行会社添乗員・京都府が連絡を取り合うなど、農家の受け入れ態勢が整ってきたほか、国内外に評判が広がっている背景から、森の京都地域振興社（亀岡市追分町）の業務委託を受け、福知山、綾部市を含む「森の京都」エリア全域に事業拡大しています。

イベントに参加するには

小学生から高校生を対象に農業体験への参加（有料）を定期的に募集しています。

・取組主体等：京都丹波・食と森の交流協議会

・問合せ先（TEL等）：0771-84-2122



地域の自然環境や生き物の生命の尊厳について学び、心を育てる自然体験を提供

体験学習等のイベント内容

- ・『たかつき子ども自然体験学校』は身近な山や野原・畑で植物や生き物とのふれあいを通して自然の楽しさや不思議さ、怖さを知り、自然の中で心をひらいて自然とつながれる子を育てます。
- ・子供達が楽しみながら自然体験をできるよう、拠点となる高槻市阿武山の自然を知り尽くした指導員が、野菜作り、山菜取り、昆虫採集、クリスマスリース作りなど四季折々の自然体験活動を行います。
- ・自然の中での友情や大人達からの愛情は、子供達が友達や生き物達に注ぐ愛情や信頼感につながります。



取組主体の紹介

NPO法人たかつきは、農業活動や野外活動、園芸活動など自然の中での活動を通して、子どもから高齢者、障害者を含めた地域の人々に、自然や植物による心身の癒しの場を提供すること、自然の循環の中での生活を学ぶこと、活動を通して互いの親交を深めること、周辺開発から都市近郊に残された貴重な自然環境を守ることをもって地域福祉の増進と子どもの健全育成、環境の保全等公益の増進に寄与する活動を行っています。

イベントに参加するには

- ・取組主体等：NPO法人たかつき
- ・問合せ先（TEL等）：072-689-9112
- ・参考URL：

<https://npo-takatsuki.org/nature/>



誰もが「楽農生活」の体験や実践ができる！

体験学習等のイベント内容

・「楽農生活」とは、農林水産業体験や農山漁村との交流などを通じて、食や「農」に親しむ兵庫県が提唱している新しいライフスタイルです。県民誰もが「楽農生活」の体験や実践ができる拠点施設として設置されました。

・田植えから稲刈りまで一連の米作り体験を行う「親子農業体験教室」、野菜栽培の基礎知識を楽しく学ぶ「野菜栽培体験コース」、地域でとれた農産物の加工体験、親子で豊かな自然を満喫する「里山再生塾」等を開講しています。

・園内や地域でとれた新鮮な農産物を食材とした「カフェ」と「農産物直売所」を開設しています。



取組主体の紹介

兵庫楽農生活センターは、気軽に「農を体験する」、「農を学び、実践する」、「食を楽しむ」といった楽農生活を実感できる施設です。

団体様向けに、園内での農作物の収穫体験や加工体験、地元野菜をふんだんに使ったカフェでの昼食など、農と食を気軽に体験できる機会を提供しています。

農業や食育の専門スタッフが利用者のご要望に応じ当センターオリジナルの説明や体験を企画しています。

イベントに参加するには

- ・取組主体等：公益社団法人ひょうご農林機構
兵庫楽農生活センター
- ・問合せ先（TEL等）：078-965-2651
- ・参考URL：<https://hyogo-rakunou.com/>

約4万m²の敷地に様々な体験ができる学びの場！

体験学習等のイベント内容

- ・神戸市立神出自然教育園は、五感を通して人やもの、自然とふれあう感動や成就感を味わわせ、豊かな人間性を培うと共に「生きる力」の育成を図ることを教育理念としています

- ・様々な自然体験学習を実施しています。生き物や植物の観察体験、農作業体験、食農体験、野遊び、防災体験などの自然体験学習や宿泊体験などがあります。

- ・この活動は、幼稚園教育や小学校教育の様々な学習プログラムに大きく寄与しています。



取組主体の紹介

神戸市立神出自然教育園は、昭和50年4月に、神戸市立神戸西高等学校園芸科の実習園を市内の養護学校と小学校に自然学習の場として実験的に開放したことから始まりました。

そして、昭和51年4月に旧神戸市立神戸西高等学校園芸科神出農場跡を利用して設立した総合的な教育施設として誕生しました。

イベントに参加するには

学生等を対象に農業体験への参加（有料）を定期的に取り組主体のHP（下記URL参照）に掲載し募集しています。

- ・取組主体等：神戸市立神出自然教育園

- ・問合せ先（TEL等）：078-965-0044

- ・参考URL：<http://www2.kobe-c.ed.jp/szk-it/>



田辺市上秋津の農業を周年で体験できます！

体験学習等のイベント内容

・上秋津は、古くから農業の盛んな地域で、みかん類の周年収穫体制が整っており、また紀州南高梅の産地であることから、6月に南高梅の収穫ができます。これら上秋津の農業の形態を活かし、周年で農業体験ができます。

・上秋津小学校農業体験学習はもう10年以上の歴史があり、そのノウハウを取り入れた豊富なメニューを用意できます。

・一年中、農と触れあいができるといことで全国から多くの方が訪れるようになり、地域も活性化しています。



取組主体の紹介

田辺市上秋津地域に元上秋津小学校をリノベーションし平成20年11月1日オープンした秋津野ガルテンは、都市と農村地域の交流を楽しむための体験型グリーンツーリズム施設です。

住民主導で運営しており、行政と連携をすすめながら、共に地域の活性化のための活動が行われています



イベントに参加するには

学生等（4名以上）を対象に農業体験への参加（有料）を取組主体のHP（下記URL参照）に掲載し募集しています。

- ・取組主体等：秋津野ガルテン
- ・問合せ先（TEL等）：0739-35-1199
- ・参考URL：<https://agarten.jp/taiken/agritaiken.html>

農業体験を通じて農家の方と触れ合える！

体験学習等のイベント内容

・多くの「食」に関する問題が世間を騒がせている中で、「食料生産に深く関わるJAとして食の大切さを伝えたい」との思いから、2003年に思いを共にする農家が集まり「体験農業部会」を設立しました。

・体験内容は、野菜の植付けや収穫、果樹の収穫について、各農作業を地元農家からアドバイスをもらいながら行います。農家とともに作業をし、汗を流し、思いを語り合うことができます。

・この活動に大人から子供まで幅広く参加でき、地元農家との交流を深めています。



取組主体の紹介

JA紀の里は、和歌山県の北部農産地帯の中央に位置し、中央部を一級河川「紀ノ川」が流れています。

平成12年11月3日にはめっけもん広場（大型農産物直売所）を開設し、既存の5直売所とO I N A C I T Y、道の駅根来さくらの里と合わせて、生・消交流の拠点として大きな成果をみせています。

イベントに参加するには

農業体験への参加を定期的にHPに掲載し募集しています。

- ・取組主体等：JA紀の里
- ・問合せ先：<https://www.ja-kinosato.or.jp/taiken/contact>
- ・参考URL：<https://www.ja-kinosato.or.jp/taiken>



農業体験を通じての棚田保全

体験学習等のイベント内容

- ・農作業を通じ、皆が楽しく喜んで交流ができることがうれしい。農村と都市部との価値観の違いも実感でき、農産物の知識を得ることもできます。
- ・田植えや稲刈り等の体験ができ、とれたお米を全てもらえるだけでなく、収穫祭に参加すると地元の特産品(地元野菜など)をもらえます。作業後には地元の方と昼食をいただくなどの楽しみもあります！(田植え・稲刈り等の参加は必須ではありません)
- ・水稻だけでなく、サツマイモやマコモダケの作付けもできます。
- ・この活動には県外からの参加者も多く、棚田オーナーは毎年更新制ですが、継続オーナーの方も多数おられます。



取組主体の紹介

「いがみ田を守る会」は、平成8年に結成し、棚田保全のためにボランティアを募っての水路清掃活動を行い、翌9年には「棚田オーナー制度」を始めました。オーナー制度の他にも、小学生の棚田学習会や学生ボランティア団体の受入れ等も行っています。

イベントに参加するに

オーナー募集期間は2月～3月。下記URLから募集案内をご確認のうえ、申込先へお申し込みください。

- ・取組主体等：いがみ田を守る会
- ・オーナー制度申込先：
〒681-8501
鳥取県岩美郡岩美町浦富675-1
岩美町役場産業建設課農林係
- ・問合せ先：0857-73-1562 (TEL)
0857-73-1590 (FAX)
- ・参考URL：<http://www.iwami.gr.jp/1971.htm>



『たんぼの学校』 in 山王寺棚田

・島根県／雲南市
・開催時期：春～秋

～古からの稲作文化について、神楽と雲海の里で思いをはせよう！～

体験学習等のイベント内容

・家族みんなで、楽しく作業し、「環境に対する豊かな感性と見識を持つ人を育てること」、「自然と人との共生、都市と農村の共生への途（みち）をさぐることを目的としています。

・『たんぼの学校』は、次の3つのコースに分かれています。

○田植えコース

○稲刈りコース

○棚田祭り＆収穫祭コース

・棚田オーナー制度及びトラスト制度による棚田保全も行っています。オーナー制度では、棚田での農作業を通じ、地元農家やオーナー同士の交流が楽しめます。トラスト制度は、農作業ができない方が資金面での支援を行う制度で、棚田米や野菜を受け取ることができる他、棚田祭り等への案内も受けられます。



取組主体の紹介

「日本の棚田百選」に選定され、行政に棚田展望台を整備してもらったのをきっかけに自治会(集落)の行事として棚田祭りを行うようになりましたが、金銭的等の負担が大きく、中山間地域直接支払事業の集落協定に参加している6世帯が有志となり「山王寺本郷棚田実行委員会」を結成。そして「たんぼの学校」の取組を始めました。

イベントに参加するには

それぞれの活動への申し込みは雲南市農林土木課へ。

・取組主体等：山王寺本郷棚田実行委員会

・問合せ先：0854-40-1053(TEL)

0854-40-1059(FAX)

・参考URL：

<https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/kankou/event/>

(イベント情報の5月頃のカレンダーをご覧ください)



農業体験を取り入れた人財育成研修

体験学習等のイベント内容

・日本の原風景が色濃い里山で、農作業という日本古来から引き継がれる協同作業を通して、チームワークで成し遂げることの重要性や尊さを学びます。

・研修プログラムは大きく2つ。一つは新入社員向けに、農業体験と研修の融合により自己理解、他者理解を深め、社会人としてのマインドの醸成とビジネスマナー、コミュニケーションを学びます。もう一つは、部門の責任者向けに、リーダー育成研修として、成果を上げるための実践プログラムを実施します。

・いずれのコースも、年間2コースで、1コース3日間。田植えや稲刈り、藁編み等の農業体験とビジネス研修、そしてヨガや瞑想をとおして心身の安定や自己管理の方法を学びます。

・新入社員研修、リーダー育成研修ともにオリジナルプログラム（ゴールの法則）を導入することで、会社が社会における真の目的（貢献）とその会社の中で成し遂げる自己の役割、責任、やりがいを確立していきます。



取組主体の紹介

上粳みろく協議会は、上粳自治会、(株)パソナグループ、上粳生産組合、しあわせ会（地元ご婦人の会）活動団体等で組織している団体です。

平成27年に設立され、日本の棚田百選に選ばれている「上粳棚田」の復元事業をはじめとして、自然栽培の取り組み、地元の野菜を活用した食の提供（レストラン「粳庵」運営）、特産品開発を行っています。

また、さまざまなイベントや催しをとおして農村文化の継承を行っています。

イベントに参加するには

表題の研修は、新入社員及び部門の責任者程度を対象。他にも研修や講座を実施していますので、まずは下記のHPをご覧ください、頁下方の「メールからお問い合わせ」に要件を入れてメール下さい。

・取組主体等：上粳みろく協議会

・参考URL：<http://kamimomi369.jp/>

